



2023年4月19日 お知らせ

厚生労働省「令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」の実施施設に選定される！

全国で16病院選定、埼玉県では埼玉医科大学国際医療センターのみ選定される
県民、患者・家族、行政、医師会、関係機関が一体となった総合支援の実現

当院は、この度、厚生労働省による「令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」において、その実施施設の一つに選定されました。既に、院内に全ての相談を包括的に支援する「包括的患者相談・支援センター」を新規設置し、その中に「脳卒中・心臓病等総合支援センター」を開設しました。埼玉県内の脳卒中・心臓病患者さんやそのご家族はもちろん、がん患者さんや移植患者さんの脳卒中・心臓病に対しても、シームレスな支援の提供が可能です。埼玉県や埼玉県脳卒中・心臓病その他の循環器病対策推進協議会、埼玉県医師会、県内関係機関との地域連携をベースに、包括的な支援体制の充実を目指し、多職種が連携し、総合的な取組を進めて参ります。

循環器病と呼ばれる脳卒中（脳血管疾患：脳梗塞、脳出血、くも膜下出血など）と心臓病（心血管疾患：急性心筋梗塞、大動脈解離、慢性心不全など）は、日本における主要な死亡原因です。また、一生を通じて発症するリスクがあり、発症すると介護など生涯に渡る支援が必要となることが多い疾患です。国でも、循環器病対策基本法を施行、循環器病対策推進基本計画を策定し、予防のための啓発や支援の充実などに関わる基盤整備が進められてきました。

「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」は、その一環として、情報提供や相談支援、地域医療機関の診療及び患者支援機能の向上に関わる先行モデルを構築し、優れた事例を全国に展開することを目的としています。

埼玉医科大学国際医療センターは、これまでも循環器病に対する急性期医療や高度医療を提供しつつ、埼玉県や市町村、救急隊や医療機関、その他関係機関との地域連携を通じて、医療面・社会面・心理面からの支援や予防に関する啓発などを積極的に行ってきました。

今後は、令和5年度の公募により選ばれた本事業の実施施設（全国15自治体16病院）の一つとして、これらの地域連携を更に強化し、すべての埼玉県民を対象とする循環器病の患者さん及びそのご家族がワンストップで質の高い情報や支援を得られるよう、埼玉県全体の患者支援体制の充実を目指し、取り組んで参ります。